

## 新投資口予約権証券の上場制度整備に伴う「業務方法書」等の一部改正について

平成26年11月27日  
株式会社日本証券クリアリング機構

### 1. 改正趣旨

株式会社東京証券取引所及び証券会員制法人福岡証券取引所にて新投資口予約権証券の上場制度が整備されることに伴い、業務方法書等について、所要の改正を行う。

### 2. 改正概要

#### (1) 清算対象取引への追加

- 東京証券取引所及び福岡証券取引所における新投資口予約権証券の取引を当社の清算対象取引に追加する。

#### (2) 決済方式の区分

- 新投資口予約権証券に係る清算約定の決済はDVP決済によるものとする。

(備考)

・業務方法書第3条及び業務方法書の取扱い第3条

・業務方法書第47条

### 3. 施行日

平成26年12月1日から施行する。

以上

新投資口予約権証券の上場制度整備に伴う関連諸規則の一部改正について

目 次

	(ページ)
1 業務方法書の一部改正新旧対照表	2
2 業務方法書の取扱いの一部改正新旧対照表	3

業務方法書の一部改正新旧対照表

新	旧
<p>(清算対象取引)</p> <p>第3条 当社の証券取引等清算業務の対象とする債務の起因となる取引（以下「清算対象取引」という。）の対象とする金融商品は、次の各号に掲げる金融商品とする。</p> <p>(1)・(2) (略)</p> <p>(3) 投資信託受益証券（投資信託の受益証券をいう。以下同じ。）、投資証券（<u>新投資口予約権証券を含む。</u>）、外国投資信託の受益証券及び外国投資証券</p> <p>(4)～(7) (略)</p> <p>2・3 (略)</p> <p>(決済方式の区分)</p> <p>第47条 (略)</p> <p>2 次の各号に掲げる有価証券（以下「DVP対象有価証券」という。）に係る清算約定の決済はDVP決済によるものとし、DVP対象有価証券以外の有価証券に係る清算約定の決済は非DVP決済によるものとする。</p> <p>(1)・(2) (略)</p> <p>(3) 投資信託受益証券、投資証券（<u>新投資口予約権証券を含む。</u>）、外国投資信託の受益証券及び外国投資証券</p> <p>(4)～(6) (略)</p> <p>3 (略)</p> <p style="text-align: center;">付 則</p> <p>この改正規定は、平成26年12月1日から施行する。</p>	<p>(清算対象取引)</p> <p>第3条 当社の証券取引等清算業務の対象とする債務の起因となる取引（以下「清算対象取引」という。）の対象とする金融商品は、次の各号に掲げる金融商品とする。</p> <p>(1)・(2) (略)</p> <p>(3) 投資信託受益証券（投資信託の受益証券をいう。以下同じ。）、投資証券、外国投資信託の受益証券及び外国投資証券</p> <p>(4)～(7) (略)</p> <p>2・3 (略)</p> <p>(決済方式の区分)</p> <p>第47条 (略)</p> <p>2 次の各号に掲げる有価証券（以下「DVP対象有価証券」という。）に係る清算約定の決済はDVP決済によるものとし、DVP対象有価証券以外の有価証券に係る清算約定の決済は非DVP決済によるものとする。</p> <p>(1)・(2) (略)</p> <p>(3) 投資信託受益証券、投資証券、外国投資信託の受益証券及び外国投資証券</p> <p>(4)～(6) (略)</p> <p>3 (略)</p>

業務方法書の取扱いの一部改正新旧対照表

新	旧
<p>(清算対象取引)</p> <p>第3条 業務方法書第3条第2項第1号に定める取引に係る清算対象取引は、次の各号に掲げる指定市場開設者が開設する金融商品市場における当該各号に定める有価証券の売買とする。この場合における用語の意義は、当該各号に掲げる指定市場開設者が定めるところによるものとする。</p> <p>(1) 株式会社東京証券取引所</p> <p>次のaから<u>n</u>までに掲げる有価証券の区分に応じ、当該aから<u>n</u>までに定める取引（立会外分売に係る売買、過誤訂正等のための売買及び復活のための売買を含み、当日決済取引その他売買契約締結の日に決済を行う取引については対当取引に限る。）</p> <p>a～c (略)</p> <p>d 投資信託受益証券（<u>g</u>に掲げるものを除く。）</p> <p>当日決済取引、普通取引、発行日決済取引及びT o S T N e T取引</p> <p>e (略)</p> <p><u>f</u> 新投資口予約権証券</p> <p>当日決済取引、普通取引及びT o S T N e T取引</p> <p><u>g</u>～<u>k</u> (略)</p> <p><u>l</u> 債券（<u>m</u>又は<u>n</u>に掲げるものを除き、保管振替機構が振替業において取り扱うものに限る。）</p> <p><u>m</u>・<u>n</u> (略)</p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) 証券会員制法人福岡証券取引所</p> <p>次のaから<u>i</u>までに掲げる有価証券の区分に応じ、当該aから<u>i</u>までに定める取引（立会外分売に係る売買、過誤訂正等のための売買及び復活のための売買を含み、当日決済取引その他売買契約締結の日に決済を行う取引については対当取引に限る。）</p> <p>a～c (略)</p> <p>d 投資信託受益証券（<u>g</u>に掲げるものを除く。）</p>	<p>(清算対象取引)</p> <p>第3条 業務方法書第3条第2項第1号に定める取引に係る清算対象取引は、次の各号に掲げる指定市場開設者が開設する金融商品市場における当該各号に定める有価証券の売買とする。この場合における用語の意義は、当該各号に掲げる指定市場開設者が定めるところによるものとする。</p> <p>(1) 株式会社東京証券取引所</p> <p>次のaから<u>m</u>までに掲げる有価証券の区分に応じ、当該aから<u>m</u>までに定める取引（立会外分売に係る売買、過誤訂正等のための売買及び復活のための売買を含み、当日決済取引その他売買契約締結の日に決済を行う取引については対当取引に限る。）</p> <p>a～c (略)</p> <p>d 投資信託受益証券（<u>f</u>に掲げるものを除く。）</p> <p>当日決済取引、普通取引、発行日決済取引及びT o S T N e T取引</p> <p>e (略)</p> <p>(新設)</p> <p><u>f</u>～<u>j</u> (略)</p> <p><u>k</u> 債券（<u>l</u>又は<u>m</u>に掲げるものを除き、保管振替機構が振替業において取り扱うものに限る。）</p> <p><u>l</u>・<u>m</u> (略)</p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) 証券会員制法人福岡証券取引所</p> <p>次のaから<u>h</u>までに掲げる有価証券の区分に応じ、当該aから<u>h</u>までに定める取引（立会外分売に係る売買、過誤訂正等のための売買及び復活のための売買を含み、当日決済取引その他売買契約締結の日に決済を行う取引については対当取引に限る。）</p> <p>a～c (略)</p> <p>d 投資信託受益証券（<u>f</u>に掲げるものを除く。）</p>

<p>当日決済取引、普通取引、発行日決済取引及び 立会外取引</p> <p>e (略)</p> <p><u>f</u> 新投資口予約権証券 当日決済取引、普通取引及び立会外取引</p> <p><u>g</u> (略)</p> <p><u>h</u> 債券 (<u>i</u>に掲げるものを除く。) 当日決済取引及び普通取引</p> <p><u>i</u> (略)</p> <p>(4) ~ (6) (略)</p> <p>2 ~ 1 1 (略)</p> <p style="text-align: center;">付 則</p> <p>この改正規定は、平成26年12月1日から施行す る。</p>	<p>当日決済取引、普通取引、発行日決済取引及び 立会外取引</p> <p>e (略)</p> <p>(新設)</p> <p><u>f</u> (略)</p> <p><u>g</u> 債券 (<u>h</u>に掲げるものを除く。) 当日決済取引及び普通取引</p> <p><u>h</u> (略)</p> <p>(4) ~ (6) (略)</p> <p>2 ~ 1 1 (略)</p>
--	--